

# 白井市男女平等推進行動計画<2016～2025> 進行管理票

## 3 誰もが安心して健やかに生きられる社会をつくらう

男女が互いの身体的性差を十分に理解し合い、人権を尊重しつつ、相手に対する思いやりを持って生きていくことは、男女共同参画社会の形成に当たっての前提です。配偶者間暴力(DV) や児童・高齢者・障がい者への虐待は、人権の侵害、力による支配といった共通要素を持ち、複合して発生することも多いことから、啓発等による防止を図るほか、横断的な連携で切れ目のない相談支援を行い、被害者の保護・救済を図ります。

また、東日本大震災の教訓から、防災・災害対策に関する取り組みにおける男女共同参画の視点の重要性についての認識が広まりました。平常時からの防災・災害対策に関する取り組み、災害時の避難所開設・運営に男女共同参画の視点を反映します。

健康支援においても、性差に基づく男女固有の健康上の課題とニーズ、特に女性は妊娠・出産機能があり、性と生殖に関する健康について、誰もが理解し尊重できるよう取り組みを行います。

市内に居住する外国人数は一貫して増加傾向にあり、人口に対する比率も上昇し続けています。市内における多文化共生推進と外国人配偶者ならではの問題を解消するため、外国人住民への支援を行います。

### (1) DVの防止・対策

#### ア 予防・啓発【DV防止基本計画】

事例の早期発見・解決を図るため、啓発によりDVの実態について周知し、パートナー間の関係の健全化を促すほか、相談窓口の周知を行います。

No	取り組み	担当課	目標	対象	実施年度(平成)				
					28	29	30	31	32
93	DV防止のための啓発・窓口周知	企画政策課	市民がDVについて理解を深め、また相談窓口の情報を得られ、被害者がすぐに相談につながる	市民	○	○	○	○	○
年度	実施した事業	実績指標	実績値 (合計:女:男:他)	実施状況	今後の方針(改善点)				
28	<ul style="list-style-type: none"> <li>・広報4月1日号・HPなどで相談窓口を周知</li> <li>・11月自治回覧で自治会に啓発チラシを配布</li> <li>・コミュニケーション講座開催(2/25)</li> <li>テーマ:「ハートのコミュニケーション」～子どもの心に伝わる話し方～</li> <li>講師:鈴木もえみさん(フリーアナウンサー)</li> <li>保育人数:8人</li> </ul>	講座受講者数(人)	34   33   1   0	○					
29	<ul style="list-style-type: none"> <li>・広報4月1日号・HPなどで相談窓口を周知</li> <li>・11月自治回覧で自治会に啓発チラシを配布</li> <li>・コミュニケーション講座開催(3/5)</li> <li>テーマ:「落語から学ぶコミュニケーション」～上手なコミュニケーションの取り方(家族編)～</li> <li>講師:山遊亭金太郎さん(落語家)</li> <li>保育人数:3人</li> </ul>	講座受講者数(人)	38   25   13   0	○					
30									
31									
32									

# 白井市男女平等推進行動計画<2016～2025> 進行管理票

## 3 誰もが安心して健やかに生きられる社会をつくろう

男女が互いの身体的性差を十分に理解し合い、人権を尊重しつつ、相手に対する思いやりを持って生きていくことは、男女共同参画社会の形成に当たっての前提です。配偶者間暴力(DV)や児童・高齢者・障がい者への虐待は、人権の侵害、力による支配といった共通要素を持ち、複合して発生することも多いことから、啓発等による防止を図るほか、横断的な連携で切れ目のない相談支援を行い、被害者の保護・救済を図ります。

また、東日本大震災の教訓から、防災・災害対策に関する取り組みにおける男女共同参画の視点の重要性についての認識が広まりました。平常時からの防災・災害対策に関する取り組み、災害時の避難所開設・運営に男女共同参画の視点を反映します。

健康支援においても、性差に基づく男女固有の健康上の課題とニーズ、特に女性は妊娠・出産機能があり、性と生殖に関する健康について、誰もが理解し尊重できるよう取り組みを行います。

市内に居住する外国人数は一貫して増加傾向にあり、人口に対する比率も上昇し続けています。市内における多文化共生推進と外国人配偶者ならではの問題を解消するため、外国人住民への支援を行います。

### (1) DVの防止・対策

#### イ 相談支援【DV防止基本計画】

配偶者に対するDVや交際中の男女間でのデートDVの被害者を保護するため、女性生き生き相談やDV相談を行うとともに被害者の保護を関係部署や警察など関係機関との連携により実施します。またDV防止などに関連する情報提供を行います。

No	取り組み	担当課	目標	対象	実施年度(平成)				
					28	29	30	31	32
94	DV相談の実施や被害者を保護するための支援	社会福祉課・企画政策課	DV被害者に対し、相談や避難支援を行うことで、DVの終結と安全確保につなげる	DV被害者	○	○	○	○	○
年度	実施した事業	実績指標	実績値 (合計:女:男:他)	実施状況	今後の方針(改善点)				
28	<ul style="list-style-type: none"> <li>・DV相談件数73件(うち企画課分43件)</li> <li>・相談者への配偶者暴力被害者緊急一時避難支援制度の情報提供(利用実績なし)</li> <li>・女性サポートセンター入所時の移動支援等(必要に応じ実施)</li> </ul>	DV相談件数(件)	43	○					
29	<ul style="list-style-type: none"> <li>・DV相談件数102件(うち企画課分40件)</li> <li>・相談者への配偶者暴力被害者緊急一時避難支援制度の報提供(利用実績なし)</li> <li>・女性サポートセンター入所時の移動支援等(必要に応じ実施)</li> </ul>	DV相談件数(件)	40	○					
30									
31									
32									

No	取り組み	担当課	目標	対象	実施年度(平成)				
					28	29	30	31	32
95	被害者の自立を支える継続的な相談支援	社会福祉課・企画政策課	DV被害者に対し継続的な相談支援や情報提供を行うことで自立を支援する	DV被害者	○	○	○	○	○
年度	実施した事業	実績指標	実績値 (合計:女:男:他)	実施状況	今後の方針(改善点)				
28	緊急避難後の自立支援を必要に応じ実施			○					
29	緊急避難後の自立支援を必要に応じ実施			○					
30									
31									
32									
No	取り組み	担当課	目標	対象	実施年度(平成)				
					28	29	30	31	32
96	生き生き相談による援助を必要とする女性への自立支援	企画政策課	生き生き相談により援助を行うことで、さまざまな困難にある女性の自立と社会的支援を図る	女性	○	○	○	○	○
年度	実施した事業	実績指標	実績値 (合計:女:男:他)	実施状況	今後の方針(改善点)				
28	・毎月2回(第2、第4木曜)女性生き生き相談を開催。合計24回実施 ・28年度の女性生き生き相談件数:90件(うちDV22件)	女性生き生き相談件数(件)	90	○					
29	・毎月2回(第2、第4木曜)女性生き生き相談を開催。合計24回実施 ・29年度の女性生き生き相談件数:95件(うちDV28件)	女性生き生き相談件数(件)	95	○					
30									
31									
32									

No	取り組み	担当課	目標	対象	実施年度(平成)				
					28	29	30	31	32
97	警察や配偶者暴力相談支援センター、関係機関との連携	社会福祉課・企画政策課	DV被害者に対し、外部機関と連携し生命の安全の確保と避難後の自立を支援する	女性	○	○	○	○	○
年度	実施した事業	実績指標	実績値 (合計:女:男:他)	実施状況	今後の方針(改善点)				
28	<ul style="list-style-type: none"> <li>県主催のDV担当課長会議等に参加し意見交換を行った</li> <li>家庭等における暴力対策ネットワーク会議代表者会議に参加(年間2回)出席した</li> <li>同担当者会議(内部)では年間6回出席し、受理ケースについて報告及び情報共有、対応を検討した</li> </ul>			○					
29	<ul style="list-style-type: none"> <li>県主催のDV担当課長会議等に参加し意見交換を行った</li> <li>家庭等における暴力対策ネットワーク会議代表者会議に参加(年間2回)出席した</li> <li>同担当者会議(内部)では年間6回出席し、受理ケースについて報告及び情報共有、対応を検討した</li> </ul>			○					
30									
31									
32									





No	取り組み	担当課	目標	対象	実施年度(平成)				
					28	29	30	31	32
100	障がい者虐待の予防・啓発	障害福祉課	障がい者虐待に関する情報提供・啓発により、発生の防止と早期相談につながる	市民	○	○	○	○	○
年度	実施した事業	実績指標	実績値 (合計:女:男:他)	実施 状況	今後の方針(改善点)				
28	・市作成のパンフレットの配布、広報、HPによる啓発を実施した。 ・市内相談支援事業所に対し、県の虐待研修の伝達研修を実施した。			○					
29	市作成のパンフレットの配布、広報、HPによる啓発を実施した			○					
30									
31									
32									
No	取り組み	担当課	目標	対象	実施年度(平成)				
					28	29	30	31	32
101	高齢者虐待に関する相談窓口の周知	高齢者福祉課	高齢者虐待に関する相談窓口の周知により、発生の防止と早期相談につながる	高齢者及びその家族	○	○	○	○	○
年度	実施した事業	実績指標	実績値 (合計:女:男:他)	実施 状況	今後の方針(改善点)				
28	・28年度総合相談・権利擁護業務における延べ支援回数:2,355件 ・この内 16件の高齢者虐待など困難事例について働きかけた結果、解決(4件) 改善(5件) 継続支援中(6件) 死亡・入院により終結(1件)	高齢者虐待・困難事例の解決・改善率(%)	56.3	○	高齢者人口の増加を踏まえて、29年度からは、地域包括支援センターを1か所から、3か所に増設する				
29	・3か所の地域包括支援センターでの総合相談・権利擁護業務における延べ支援回数:5,580件 ・この内37件の高齢者虐待などの困難事例について働きかけた結果、解決(17件) 改善(1件) 継続支援中(10件) 死亡・入院により終結(9件)	高齢者虐待・困難事例の解決・改善率(%)	48.6	○					
30									
31									
32									

# 白井市男女平等推進行動計画<2016～2025> 進行管理票

## 3 誰もが安心して健やかに生きられる社会をつくろう

男女が互いの身体的性差を十分に理解し合い、人権を尊重しつつ、相手に対する思いやりを持って生きていくことは、男女共同参画社会の形成に当たっての前提です。配偶者間暴力(DV)や児童・高齢者・障がい者への虐待は、人権の侵害、力による支配といった共通要素を持ち、複合して発生することも多いことから、啓発等による防止を図るほか、横断的な連携で切れ目のない相談支援を行い、被害者の保護・救済を図ります。

また、東日本大震災の教訓から、防災・災害対策に関する取り組みにおける男女共同参画の視点の重要性についての認識が広まりました。平常時からの防災・災害対策に関する取り組み、災害時の避難所開設・運営に男女共同参画の視点を反映します。

健康支援においても、性差に基づく男女固有の健康上の課題とニーズ、特に女性は妊娠・出産機能があり、性と生殖に関する健康について、誰もが理解し尊重できるよう取り組みを行います。

市内に居住する外国人数は一貫して増加傾向にあり、人口に対する比率も上昇し続けています。市内における多文化共生推進と外国人配偶者ならではの問題を解消するため、外国人住民への支援を行います。

### (2) 虐待・暴力の防止・対策

#### イ 相談支援【DV防止基本計画】

虐待・暴力について、その早期発見に努めるとともに、関係部署等による被害者・加害者への連携した相談支援によりその解決・改善を図ります。

No	取り組み	担当課	目標	対象	実施年度(平成)				
					28	29	30	31	32
102	児童虐待の早期発見・早期対応	子育て支援課	児童虐待を早期に把握し、早期対応することで解決・改善を目指す	子育て中の家庭	○	○	○	○	○
年度	実施した事業	実績指標	実績値 (合計:女:男:他)	実施状況	今後の方針(改善点)				
28	<ul style="list-style-type: none"> <li>・幼稚園・保育園・小・中学校の児童・生徒を通じて家庭ヘリーフレット配布</li> <li>・児童館・子育て支援センター、民生委員・児童委員などの地域の協力者等へのリーフレット配布</li> <li>・国から配布されたポスターやリーフレット・カードの関係機関等への掲示および配布</li> <li>・虐待防止推進月間に合わせて、広報しろい11月1日号にて児童虐待防止に関する啓発実施</li> <li>・家庭児童相談新規相談受付件数242件(うち児童虐待相談101件)、児童虐待相談について、昨年度からの継続件数74件</li> <li>・相談対応延べ件数2,063件</li> <li>子育てに関する助言・指導やサービスの利用に関する情報提供の実施により、子育ての負担感の軽減を図った。また、必要に応じて関係課・関係機関等とケース会議を行うなど連携して対応し、家族間の関係性改善を図った。</li> </ul>			○					





No	取り組み	担当課	目標	対象	実施年度(平成)				
					28	29	30	31	32
104	障がい者虐待防止センターによる相談の実施	障害福祉課	障がい者虐待などの被害者、加害者への相談支援を行い、虐待等の解決・改善を目指す	市民	○	○	○	○	○
年度	実施した事業	実績指標	実績値 (合計:女:男:他)	実施 状況	今後の方針(改善点)				
28	・新規1件、前年度から継続4件の虐待通報対応をした 解決1件、虐待事実の確認がされなかったが支援の指導を実施1件、改善継続2件、継続1件	対応件数に対し、解決・改善が半数を超える (解決・改善数/対応件数)	4/5 2/2 0.67	○					
29	・新規10件、継続3件の虐待通報対応をした 解決3件、改善継続5件、継続4件、虐待事実確認無し1件	対応件数に対し、解決・改善が半数を超える	7/12 0.6 0.57	○					
30									
31									
32									

# 白井市男女平等推進行動計画<2016～2025> 進行管理票

## 3 誰もが安心して健やかに生きられる社会をつくろう

男女が互いの身体的性差を十分に理解し合い、人権を尊重しつつ、相手に対する思いやりを持って生きていくことは、男女共同参画社会の形成に当たっての前提です。配偶者間暴力(DV)や児童・高齢者・障がい者への虐待は、人権の侵害、力による支配といった共通要素を持ち、複合して発生することも多いことから、啓発等による防止を図るほか、横断的な連携で切れ目のない相談支援を行い、被害者の保護・救済を図ります。

また、東日本大震災の教訓から、防災・災害対策に関する取り組みにおける男女共同参画の視点の重要性についての認識が広まりました。平常時からの防災・災害対策に関する取り組み、災害時の避難所開設・運営に男女共同参画の視点を反映します。

健康支援においても、性差に基づく男女固有の健康上の課題とニーズ、特に女性は妊娠・出産機能があり、性と生殖に関する健康について、誰もが理解し尊重できるよう取り組みを行います。

市内に居住する外国人数は一貫して増加傾向にあり、人口に対する比率も上昇し続けています。市内における多文化共生推進と外国人配偶者ならではの問題を解消するため、外国人住民への支援を行います。

### (3) ハラスメントやいじめの防止・対策

#### ア 予防・啓発【DV防止基本計画】

機会を捉えて啓発を実施し、人権意識を高め、差別や偏見のない男女がともに支え合う地域社会の構築を図ります。また、学校でのいじめの発生を未然に防ぐため、学校での予防・啓発を行います。

No	取り組み	担当課	目標	対象	実施年度(平成)				
					28	29	30	31	32
105	人権に関する啓発の実施	企画政策課	市民の人権意識を高め、差別や偏見のない男女が共に支え合う地域社会を構築する	市民	○	○	○	○	○
年度	実施した事業	実績指標	実績値 (合計:女:男:他)	実施 状況	今後の方針(改善点)				
28	・人権週間期間中(12月4日～10日)、白井駅前啓発活動を実施(12月5日)、市庁舎外周等に横断幕・のぼり旗設置、保健福祉センター内で啓発パネル展示を実施、広報に啓発記事掲載 ・人権教室の開催 ①七次台小(12/1)、対象:4年生99人② 大山口小(12/15)、対象:4年生122人	人権教室参加児童数(人)	221	○					
29	・人権週間期間中(12月4日～10日)、白井駅前啓発活動を実施(12月4日)、市庁舎外周等に横断幕・のぼり旗設置、保健福祉センター内で啓発パネル展示を実施、広報に啓発記事掲載 ・人権教室の開催 ①七次台小(10/31)、対象:4年生115人 ②清水口小(12/5)、対象:5年生69人 ③南山小(2/9)、対象:4年生90人	人権教室参加児童数(人)	274	○					
30									
31									
32									



## 白井市男女平等推進行動計画<2016～2025> 進行管理票

**3 誰もが安心して健やかに生きられる社会をつくらう**  
 男女が互いの身体的性差を十分に理解し合い、人権を尊重しつつ、相手に対する思いやりを持って生きていくことは、男女共同参画社会の形成に当たっての前提です。配偶者間暴力(DV) や児童・高齢者・障がい者への虐待は、人権の侵害、力による支配といった共通要素を持ち、複合して発生することも多いことから、啓発等による防止を図るほか、横断的な連携で切れ目のない相談支援を行い、被害者の保護・救済を図ります。  
 また、東日本大震災の教訓から、防災・災害対策に関する取り組みにおける男女共同参画の視点の重要性についての認識が広まりました。平常時からの防災・災害対策に関する取り組み、災害時の避難所開設・運営に男女共同参画の視点を反映します。  
 健康支援においても、性差に基づく男女固有の健康上の課題とニーズ、特に女性は妊娠・出産機能があり、性と生殖に関する健康について、誰もが理解し尊重できるよう取り組みを行います。  
 市内に居住する外国人数は一貫して増加傾向にあり、人口に対する比率も上昇し続けています。市内における多文化共生推進と外国人配偶者ならではの問題を解消するため、外国人住民への支援を行います。

**(3) ハラスメントやいじめの防止・対策**  
**イ 相談支援【DV防止基本計画】**  
 人権相談の開催により、地域や職場でのハラスメントといった人権侵害の解決・救済を図ります。また、いじめなど児童生徒のさまざまな問題の相談支援のため教育相談を行います。

No	取り組み	担当課	目標	対象	実施年度(平成)				
					28	29	30	31	32
107	人権相談の開催	企画政策課	ハラスメント等で人権を侵害された市民の権利擁護が図られる	市民	○	○	○	○	○
年度	実施した事業	実績指標	実績値 (合計:女:男:他)	実施 状況	今後の方針(改善点)				
28	8月を除く毎月第2木曜日に、人権相談を開催	人権相談件数(件)	7	○					
29	8月を除く毎月第2木曜日に、人権相談を開催	人権相談件数(件)	2	○					
30									
31									
32									

No	取り組み	担当課	目標	対象	実施年度(平成)				
					28	29	30	31	32
108	スクールカウンセラー、教育相談員、職員による教育相談の実施	教育支援課	児童生徒における様々な教育問題に相談窓口を開設することによって、相談しやすい環境づくりができる	児童生徒及び保護者	○	○	○	○	○
年度	実施した事業	実績指標	実績値 (合計:女:男:他)	実施状況	今後の方針(改善点)				
28	<ul style="list-style-type: none"> <li>各学校において、年2回または3回の学校職員による教育相談を実施</li> <li>市内全中学校においてスクールカウンセラーが週1日勤務し、相談活動を実施</li> <li>市内小学校2校において、スクールカウンセラーが隔週で勤務し、相談活動を実施</li> <li>教育相談室を年212日開設し、教育相談員による来室相談及び電話相談を実施</li> </ul>	相談来室人数(保護者、児童、生徒)	371   360   11	○					
29	<ul style="list-style-type: none"> <li>各学校において、年2回または3回の学校職員による教育相談を実施</li> <li>市内全中学校においてスクールカウンセラーが週1日勤務し、相談活動を実施</li> <li>市内小学校2校において、スクールカウンセラーが隔週で勤務し、相談活動を実施</li> <li>教育相談室を年212日開設し、教育相談員による来室相談及び電話相談を実施</li> </ul>	相談来室人数(保護者、児童、生徒)	462	○					
30									
31									
32									

# 白井市男女平等推進行動計画<2016～2025> 進行管理票

## 3 誰もが安心して健やかに生きられる社会をつくろう

男女が互いの身体的性差を十分に理解し合い、人権を尊重しつつ、相手に対する思いやりを持って生きていくことは、男女共同参画社会の形成に当たっての前提です。配偶者間暴力(DV) や児童・高齢者・障がい者への虐待は、人権の侵害、力による支配といった共通要素を持ち、複合して発生することも多いことから、啓発等による防止を図るほか、横断的な連携で切れ目のない相談支援を行い、被害者の保護・救済を図ります。

また、東日本大震災の教訓から、防災・災害対策に関する取り組みにおける男女共同参画の視点の重要性についての認識が広まりました。平常時からの防災・災害対策に関する取り組み、災害時の避難所開設・運営に男女共同参画の視点を反映します。

健康支援においても、性差に基づく男女固有の健康上の課題とニーズ、特に女性は妊娠・出産機能があり、性と生殖に関する健康について、誰もが理解し尊重できるよう取り組みを行います。

市内に居住する外国人数は一貫して増加傾向にあり、人口に対する比率も上昇し続けています。市内における多文化共生推進と外国人配偶者ならではの問題を解消するため、外国人住民への支援を行います。

## (4) DV・虐待被害者支援のための連携体制

### ア 関係機関・関係課間の連携体制作り【DV防止基本計画】

外部の関係機関との連携を図るため、暴力対策ネットワーク会議代表者会議を開催します。また、内部の関係部署間の連携のため暴力対策ネットワーク会議担当者会議を開催します。

No	取り組み	担当課	目標	対象	実施年度(平成)				
					28	29	30	31	32
109	暴力対策ネットワーク会議の開催	社会福祉課	関係課・関係機関等が連携のもと効果的に支援できる体制を整備し、虐待等暴力の未然防止に取り組み、被害者の早期発見・早期支援による安心で安全な生活の確保を図る	市民	○	○	○	○	○
年度	実施した事業	実績指標	実績値 (合計:女:男:他)	実施 状況	今後の方針(改善点)				
28	<ul style="list-style-type: none"> <li>相談窓口を243日開設した。</li> <li>保健福祉相談室で受けたDV相談については企画政策課や家庭児童相談室等関係課や関係機関(警察、女性サポートセンター、健康福祉センター等)と情報共有を行い、必要に応じケース会議を開催して、連携しながら支援を実施し、暴力防止を図った。</li> <li>白井市家庭等における暴力対策ネットワーク会議を年12回(偶数月:児童部会、奇数月:高齢者・障害者虐待・DV)開催し、支援状況や支援の方向性を確認した。</li> <li>配偶者間暴力相談件数25件(うち13件は平成28年度中に問題解決により支援終了)</li> </ul>		.....	○					

29	<ul style="list-style-type: none"> <li>・相談窓口を244日開設した</li> <li>・保健福祉相談室で受けたDV相談については企画政策課や家庭児童相談室等関係課や関係機関(警察、女性サポートセンター、健康福祉センター等)と情報共有を行い、必要に応じケース会議を開催して、連携しながら支援を実施し、暴力防止を図った</li> <li>・白井市家庭等における暴力対策ネットワーク会議代表者会議を年2回開催し、外部の関係機関との連携を図った</li> <li>・ネットワーク会議担当会議を年12回(偶数月:児童部会、奇数月:高齢者・障害者虐待・DV)開催し、支援状況や支援の方向性を確認した</li> <li>・配偶者間暴力相談件数11件(うち6件は平成29年度中に問題解決により支</li> </ul>			○	
30					
31					
32					



# 白井市男女平等推進行動計画<2016～2025> 進行管理票

## 3 誰もが安心して健やかに生きられる社会をつくろう

男女が互いの身体的性差を十分に理解し合い、人権を尊重しつつ、相手に対する思いやりを持って生きていくことは、男女共同参画社会の形成に当たっての前提です。配偶者間暴力(DV) や児童・高齢者・障がい者への虐待は、人権の侵害、力による支配といった共通要素を持ち、複合して発生することも多いことから、啓発等による防止を図るほか、横断的な連携で切れ目のない相談支援を行い、被害者の保護・救済を図ります。

また、東日本大震災の教訓から、防災・災害対策に関する取り組みにおける男女共同参画の視点の重要性についての認識が広まりました。平常時からの防災・災害対策に関する取り組み、災害時の避難所開設・運営に男女共同参画の視点を反映します。

健康支援においても、性差に基づく男女固有の健康上の課題とニーズ、特に女性は妊娠・出産機能があり、性と生殖に関する健康について、誰もが理解し尊重できるよう取り組みを行います。

市内に居住する外国人数は一貫して増加傾向にあり、人口に対する比率も上昇し続けています。市内における多文化共生推進と外国人配偶者ならではの問題を解消するため、外国人住民への支援を行います。

### (5) 防災・災害対策に関する取り組み

#### ア 地域防災力の向上

日常からの地域防災・災害対策の要となる消防団への女性団員の加入促進に努めます。また、防災訓練・講習への幅広い参加に努め、災害対応の周知啓発を図ります。

No	取り組み	担当課	目標	対象	実施年度(平成)				
					28	29	30	31	32
110	消防団員充実強化	危機管理課	女性消防団員の加入を促進する	市民	○	○	○	○	○
年度	実施した事業	実績指標	実績値 (合計:女:男:他)	実施 状況	今後の方針(改善点)				
28	団員確保のための広報	実施回数	5	○					
29	団員確保のための広報	実施回数	5	○	引き続き広報の実施に取り組む				
30									
31									
32									
No	取り組み	担当課	目標	対象	実施年度(平成)				
					28	29	30	31	32
111	防災意識の向上と知識の普及	危機管理課	防災訓練・講習等を通じて災害対応の周知・啓発を図る	市民	○	○	○	○	○
年度	実施した事業	実績指標	実績値 (合計:女:男:他)	実施 状況	今後の方針(改善点)				
28	防災訓練、なるほど行政講座、地区防災学習等への支援	実施回数	13	○					
29	防災訓練、なるほど行政講座、地区防災学習等への支援	実施回数	17	○	引き続き周知・啓発を図る				
30									
31									
32									

# 白井市男女平等推進行動計画<2016～2025> 進行管理票

## 3 誰もが安心して健やかに生きられる社会をつくろう

男女が互いの身体的性差を十分に理解し合い、人権を尊重しつつ、相手に対する思いやりを持って生きていくことは、男女共同参画社会の形成に当たっての前提です。配偶者間暴力(DV)や児童・高齢者・障がい者への虐待は、人権の侵害、力による支配といった共通要素を持ち、複合して発生することも多いことから、啓発等による防止を図るほか、横断的な連携で切れ目のない相談支援を行い、被害者の保護・救済を図ります。

また、東日本大震災の教訓から、防災・災害対策に関する取り組みにおける男女共同参画の視点の重要性についての認識が広まりました。平常時からの防災・災害対策に関する取り組み、災害時の避難所開設・運営に男女共同参画の視点を反映します。

健康支援においても、性差に基づく男女固有の健康上の課題とニーズ、特に女性は妊娠・出産機能があり、性と生殖に関する健康について、誰もが理解し尊重できるよう取り組みを行います。

市内に居住する外国人数は一貫して増加傾向にあり、人口に対する比率も上昇し続けています。市内における多文化共生推進と外国人配偶者ならではの問題を解消するため、外国人住民への支援を行います。

## (5) 防災・災害対策に関する取り組み

### イ 災害に備えた体制整備

災害発生に備えた備蓄体制の整備に当たっては、乳幼児や女性のニーズに配慮した備蓄に努めます。また、災害発生時の避難所開設・運営に当たっては、男女がともに参画できるように努めます。

No	取り組み	担当課	目標	対象	実施年度(平成)				
					28	29	30	31	32
112	備蓄体制の整備	危機管理課	乳幼児・女性に配慮した備蓄に努める	市民	○	○	○	○	○
年度	実施した事業	実績指標	実績値 (合計:女:男:他)	実施状況	今後の方針(改善点)				
28	新規購入無し、既存備蓄品の管理			○					
29	乳幼児用の粉ミルクを購入 (13g×10本/箱)	購入数量	120	○	引き続き備蓄に努める				
30									
31									
32									
No	取り組み	担当課	目標	対象	実施年度(平成)				
					28	29	30	31	32
113	避難所の開設・運営	危機管理課	男女ともに責任ある立場で参画し、ニーズの違いに配慮する	避難者	※災害発生時に対応				
年度	実施した事業	実績指標	実績値 (合計:女:男:他)	実施状況	今後の方針(改善点)				
28	災害発生なし				継続				
29	特に配慮を必要とする災害なし				避難所の運営に男女ともに参画するよう促し、ニーズの違いに配慮するよう支援する				
30									
31									
32									

# 白井市男女平等推進行動計画<2016～2025> 進行管理票

## 3 誰もが安心して健やかに生きられる社会をつくろう

男女が互いの身体的性差を十分に理解し合い、人権を尊重しつつ、相手に対する思いやりを持って生きていくことは、男女共同参画社会の形成に当たっての前提です。配偶者間暴力(DV) や児童・高齢者・障がい者への虐待は、人権の侵害、力による支配といった共通要素を持ち、複合して発生することも多いことから、啓発等による防止を図るほか、横断的な連携で切れ目のない相談支援を行い、被害者の保護・救済を図ります。

また、東日本大震災の教訓から、防災・災害対策に関する取り組みにおける男女共同参画の視点の重要性についての認識が広まりました。平常時からの防災・災害対策に関する取り組み、災害時の避難所開設・運営に男女共同参画の視点を反映します。

健康支援においても、性差に基づく男女固有の健康上の課題とニーズ、特に女性は妊娠・出産機能があり、性と生殖に関する健康について、誰もが理解し尊重できるよう取り組みを行います。

市内に居住する外国人数は一貫して増加傾向にあり、人口に対する比率も上昇し続けています。市内における多文化共生推進と外国人配偶者ならではの問題を解消するため、外国人住民への支援を行います。

### (6) 性差を踏まえた生涯にわたる健康支援

#### ア 健診の実施

性差による体の仕組みの違いから、男女それぞれに特有のがんがあります。女性のがんで最も多い乳がんや、女性のみ発症する子宮頸がんのがん健診を実施します。また、男性特有のがんに関する健診の実施についても検討します。

No	取り組み	担当課	目標	対象	実施年度(平成)				
					28	29	30	31	32
114	がん健診の実施	健康課	男女それぞれに特有のがんの予防や、早期発見・早期治療につなげる	市民	○	○	○	○	○
年度	実施した事業	実績指標	実績値 (合計:女:男:他)	実施状況	今後の方針(改善点)				
28	・子宮頸がん検診: 受診者数1,814人、集団検診10日間、個別検診契約医療機関市内2か所 ・乳がん検診: 受診者数2,361人、集団検診(40歳以上のみ)10日間、個別検診契約医療機関市内マンモグラフィ2か所、超音波検査3か所・市外1か所	子宮頸がん検診受診者数 1,814人 乳がん検診受診者数 2,361人	4,175:4,175	○					
29	・子宮頸がん検診: 受診者数1,783人、集団検診10日間、個別検診契約医療機関市内2か所 ・乳がん検診: 受診者数2,184人、集団検診(40歳以上のみ)10日間、個別検診契約医療機関市内マンモグラフィ2か所、超音波検査3か所・市外1か所 ・前立腺がん検診: 受診者数 279人(50歳以上の年度末年齢が偶数年齢の人)7月～1月まで、個別検診契約医療機関市内18か所	・子宮頸がん検診受診者数 1,783人 ・乳がん検診受診者数 2,184人 ・前立腺がん検診受診者数 279人	4,246:3,967: 279	○					
30									
31									
32									

# 白井市男女平等推進行動計画<2016～2025> 進行管理票

## 3 誰もが安心して健やかに生きられる社会をつくろう

男女が互いの身体的性差を十分に理解し合い、人権を尊重しつつ、相手に対する思いやりを持って生きていくことは、男女共同参画社会の形成に当たっての前提です。配偶者間暴力(DV) や児童・高齢者・障がい者への虐待は、人権の侵害、力による支配といった共通要素を持ち、複合して発生することも多いことから、啓発等による防止を図るほか、横断的な連携で切れ目のない相談支援を行い、被害者の保護・救済を図ります。

また、東日本大震災の教訓から、防災・災害対策に関する取り組みにおける男女共同参画の視点の重要性についての認識が広まりました。平常時からの防災・災害対策に関する取り組み、災害時の避難所開設・運営に男女共同参画の視点を反映します。

健康支援においても、性差に基づく男女固有の健康上の課題とニーズ、特に女性は妊娠・出産機能があり、性と生殖に関する健康について、誰もが理解し尊重できるよう取り組みを行います。

市内に居住する外国人数は一貫して増加傾向にあり、人口に対する比率も上昇し続けています。市内における多文化共生推進と外国人配偶者ならではの問題を解消するため、外国人住民への支援を行います。

## (6) 性差を踏まえた生涯にわたる健康支援

### イ 健康に関する啓発と相談の実施

市民の健康づくりに取り組むきっかけとして健康相談を行うほか、市民が各々の性についての知識を得られるよう情報提供を行います。

No	取り組み	担当課	目標	対象	実施年度(平成)				
					28	29	30	31	32
115	健康相談	健康課	市民が健康づくりに取り組むきっかけとなり、健康の維持・増進につながる	市民	○	○	○	○	○
年度	実施した事業	実績指標	実績値 (合計:女:男:他)	実施状況	今後の方針(改善点)				
28	・随時、窓口・電話等で健康相談を実施 ・月1回、保健福祉センター、西白井複合センター、富士センターでの健康相談を実施	【窓口・電話等での相談】 面接相談実施人数 電話・メール相談実施人数 【各センターでの相談】 相談実施回数 相談実施人数	2,029 1,786 36 484	○					
29	・随時、窓口・電話等で健康相談を実施 ・月1回、保健福祉センター、富士センターでの健康相談を実施	【窓口・電話等での相談】 面接相談実施人数 電話・メール相談実施人数 【各センターでの相談】 相談実施回数 相談実施人数	4,118 1,480 24 450	○	西白井複合センターの健康相談は、同センター内の地域包括支援センターでの相談対応へ移行した				
30									
31									
32									

No	取り組み	担当課	目標	対象	実施年度(平成)				
					28	29	30	31	32
116	性差を踏まえた生涯の健康に関する情報提供	健康課	市民がそれぞれの性についての健康に関する知識を得て健康を維持できる	市民	○	○	○	○	○
年度	実施した事業	実績指標	実績値 (合計:女:男:他)	実施 状況	今後の方針(改善点)				
28	成人式や1歳6か月児・3歳児健康診査の対象者に対し、乳がん・子宮頸がんに関する情報提供を実施	【成人式でのチラシ配布】 配布数 【1歳6か月・3歳児健康診査対象者へのチラシ配布数】 1歳6か月児健康診査 3歳児健康診査	463  529 529 557 557	○					
29	成人式や1歳6か月児・3歳児健康診査の対象者に対し、乳がん・子宮頸がんに関する情報提供を実施	【成人式でのチラシ配布】 配布数 【1歳6か月・3歳児健康診査対象者へのチラシ配布数】 1歳6か月児健康診査 3歳児健康診査	540  471 471 520 520	○					
30									
31									
32									

# 白井市男女平等推進行動計画<2016～2025> 進行管理票

## 3 誰もが安心して健やかに生きられる社会をつくろう

男女が互いの身体的性差を十分に理解し合い、人権を尊重しつつ、相手に対する思いやりを持って生きていくことは、男女共同参画社会の形成に当たっての前提です。配偶者間暴力(DV) や児童・高齢者・障がい者への虐待は、人権の侵害、力による支配といった共通要素を持ち、複合して発生することも多いことから、啓発等による防止を図るほか、横断的な連携で切れ目のない相談支援を行い、被害者の保護・救済を図ります。

また、東日本大震災の教訓から、防災・災害対策に関する取り組みにおける男女共同参画の視点の重要性についての認識が広まりました。平常時からの防災・災害対策に関する取り組み、災害時の避難所開設・運営に男女共同参画の視点を反映します。

健康支援においても、性差に基づく男女固有の健康上の課題とニーズ、特に女性は妊娠・出産機能があり、性と生殖に関する健康について、誰もが理解し尊重できるよう取り組みを行います。

市内に居住する外国人数は一貫して増加傾向にあり、人口に対する比率も上昇し続けています。市内における多文化共生推進と外国人配偶者ならではの問題を解消するため、外国人住民への支援を行います。

## (6) 性差を踏まえた生涯にわたる健康支援

### ウ 性に関する知識の啓発

教育における取り組みである1-B-(4)「性と出産・健康に関する教育の推進」、若い世代への支援でもある2-A-(4)「妊産婦とそのパートナーへの支援」と併せ、性と妊娠・出産に関する知識の啓発に取り組みます。

No	取り組み	担当課	目標	対象	実施年度(平成)				
					28	29	30	31	32
117	妊娠・出産に関する知識の普及と相談支援の実施	健康課	母子手帳交付時面接時に、個々のニーズに合った情報提供等を行い、安心・安全な妊娠・出産に向けての保健対策の充実を図る	妊婦および家族	○	○	○	○	○
年度	実施した事業	実績指標	実績値 (合計:女:男:他)	実施状況	今後の方針(改善点)				
28	母子健康手帳交付時に保健師や助産師などの専門職が全数面接をし、保健指導を実施	母子健康手帳交付数	407 407	○					
29	母子健康手帳交付時に保健師や助産師などの専門職が全数面接をし、保健指導を実施	母子健康手帳交付数	395 395	○					
30									
31									
32									
No	取り組み	担当課	目標	対象	実施年度(平成)				
					28	29	30	31	32
118	幼児期からの性(生)教育の取り組み	健康課	幼児健診等で将来の思春期保健に繋がる性教育に関する情報を提供し、幼児期からの性(生)に対する理解を促す	保護者と幼児	○	○	○	○	○
年度	実施した事業	実績指標	実績値 (合計:女:男:他)	実施状況	今後の方針(改善点)				
28	・3歳児健診時にリーフレットを配布した配布数:557人 ・中学校等への媒体(赤ちゃん人形)の貸し出し:1校	3歳児健診受診者の保護者	557	○					
29	・3歳児健診時にリーフレットを配布した配布数:573人 ・中学校等への媒体(赤ちゃん人形)の貸し出し:2校	3歳児健診受診者の保護者	573	○					
30									
31									
32									

# 白井市男女平等推進行動計画<2016～2025> 進行管理票

## 3 誰もが安心して健やかに生きられる社会をつくろう

男女が互いの身体的性差を十分に理解し合い、人権を尊重しつつ、相手に対する思いやりを持って生きていくことは、男女共同参画社会の形成に当たっての前提です。配偶者間暴力(DV) や児童・高齢者・障がい者への虐待は、人権の侵害、力による支配といった共通要素を持ち、複合して発生することも多いことから、啓発等による防止を図るほか、横断的な連携で切れ目のない相談支援を行い、被害者の保護・救済を図ります。

また、東日本大震災の教訓から、防災・災害対策に関する取り組みにおける男女共同参画の視点の重要性についての認識が広まりました。平常時からの防災・災害対策に関する取り組み、災害時の避難所開設・運営に男女共同参画の視点を反映します。

健康支援においても、性差に基づく男女固有の健康上の課題とニーズ、特に女性は妊娠・出産機能があり、性と生殖に関する健康について、誰もが理解し尊重できるよう取り組みを行います。

市内に居住する外国人数は一貫して増加傾向にあり、人口に対する比率も上昇し続けています。市内における多文化共生推進と外国人配偶者ならではの問題を解消するため、外国人住民への支援を行います。

### (7) 多文化共生の推進

#### ア 外国人住民への支援

外国人住民への支援として、相談支援や域内外国人住民と日本人住民の交流事業、外国語による情報発信、市内小中学校への補助教員の配置を行います。

No	取り組み	担当課	目標	対象	実施年度(平成)				
					28	29	30	31	32
119	外国人市民交流による相互理解の推進	企画政策課	地域の外国人と市民の交流が促進され、差別や偏見のない多文化共生社会を実現する	外国人市民、市民	○	○	○	○	○
年度	実施した事業	実績指標	実績値 (合計:女:男:他)	実施状況	今後の方針(改善点)				
28	外国人市民交流事業を実施 国際親善ミニサッカー大会 (5月22日、参加者約200人) ダンスフードフェスティバル (3月5日、参加者約700人)			○					
29	外国人市民交流事業を実施 国際親善ミニサッカー大会 (5月21日、参加者約200人) ダンスフードフェスティバル (3月4日、参加者約850人)			○					
30									
31									
32									
No	取り組み	担当課	目標	対象	実施年度(平成)				
120	広報英語版作成による外国人市民への情報提供	企画政策課	外国人市民が各種手続きや福祉に関する情報を得られる	外国人市民	○	○	○	○	○
年度	実施した事業	実績指標	実績値 (合計:女:男:他)	実施状況	今後の方針(改善点)				
28	月広報英語版を100部発行・配布(希望者には郵送)	郵送数(延べ人数)	168	○	周知を強化する				
29	月広報英語版を100部発行・配布(希望者には郵送)	郵送数(延べ人数)	204	○					
30									
31									
32									

No	取り組み	担当課	目標	対象	実施年度(平成)				
					28	29	30	31	32
121	外国人相談の実施	企画政策課	外国人市民が行政窓口で十分な支援を得られ、各種サービスの享受や生活に関する不安やトラブルが解消される	外国人市民	○	○	○	○	○
年度	実施した事業	実績指標	実績値 (合計:女:男:他)	実施 状況	今後の方針(改善点)				
28	外国人相談を随時実施	相談件数	11	○	周知を強化する				
29	外国人相談を随時実施	相談件数	36	○					
30									
31									
32									
No	取り組み	担当課	目標	対象	実施年度(平成)				
					28	29	30	31	32
122	外国人や外国人の親を持つ子どもの就学などへの支援	学校政策課	外国人や帰国子女に対して日本語指導の補助教員(通訳)を配置し、日本の学校生活や生活習慣に慣れるようにする	転入外国人、 帰国子女	○	○	○	○	○
年度	実施した事業	実績指標	実績値 (合計:女:男:他)	実施 状況	今後の方針(改善点)				
28	1名の補助教員配置	小学校3校に週1~2日ずつ配置	1 1 0 0	○					
29	4名の補助教員配置	・小学校4校に3人を週1~2日配置 ・中学校1校に1人を週5日配置	4 4 0 0	○					
30									
31									
32									